



お彼岸期間に市営霊園行き臨時バスを運行します

お彼岸の期間のうち3月20日(日)・21日(祝)の2日間、市営霊園行きの臨時バスを運行します。バスの時刻表・乗り場案内図は、健康福祉課、市営霊園、支所・連絡所で配布。市ホームページにも掲載しています。

霊園の開園時間は午前8時30分～午後4時30分です。混雑が予想されますので、往路と復路は同じコースに乗車するようお願いいたします。(健康福祉課 ☎421-6731)

■八千代台文化センター発

	1便	2便	3便	
往路	八千代台文化センター※	8:30	11:00	13:30
	八千代中央駅付近 (八千代郵便局向かい側)※	8:50	11:20	13:50
	TRC八千代中央図書館・ オーエンス 八千代市民ギャラリー	8:55	11:25	13:55
	市営霊園	9:15	11:45	14:15
復路	市営霊園	10:00	12:30	15:00
	TRC八千代中央図書館・ オーエンス 八千代市民ギャラリー	10:20	12:50	15:20
	八千代中央駅付近 (八千代郵便局向かい側)※	10:25	12:55	15:25
	八千代台文化センター※	10:45	13:15	15:45

■勝田台駅北口発

	1便	2便	3便	
往路	勝田台駅北口 (千葉興業銀行前)※	8:55	11:25	13:55
	村上団地 (第3バス停付近)※	9:10	11:40	14:10
	米本団地入口 (コインランドリー付近)※	9:25	11:55	14:25
	市営霊園	9:40	12:10	14:40
復路	市営霊園	10:25	12:55	15:25
	米本団地入口 (コインランドリー付近)※	10:40	13:10	15:40
	村上団地 (第3バス停付近)※	10:55	13:25	15:55
	勝田台駅北口 (千葉興業銀行前)※	11:10	13:40	16:10

■高津団地発

	1便	2便	3便	
往路	高津団地 (高津浄水場付近)※	9:45	12:00	14:25
	八千代緑が丘駅付近 (イオン自転車売り場向かい)※	10:00	12:15	14:45
	市営霊園	10:20	12:40	15:10
復路	市営霊園	11:05	13:25	15:55
	八千代緑が丘駅付近 (イオン自転車売り場向かい)※	11:30	13:50	16:20
	高津団地 (高津浄水場付近)※	11:45	14:10	16:40

※印はふれあいプラザ行きのバス停

コミュニティ高校などを訪問し、ホームステイも行いました。

一方、タイラー市からは65年の歴史があるチャリダーチーム「アパッチ・ベルズ」やバンドチーム「アパッチ・バンド」が八千代市を訪問し公演を行うなど、記念となる交流がありました。

また、平成27年の訪問の際は、タイラー市長から更なる友好を願い10月15日を「姉妹都市の日」と定める「声明書」が読み上げられました。

舞台裏で多くの人が橋渡し

友好が深まっていく舞台裏では、姉妹都市交流の橋渡しに貢献した人々の熱意と努力がありました。

平成8年11月には、両市の縁組をはじめ、ALTを八千代市へ毎年派遣し、市の英語教育にご尽力されるなど姉妹都市交流に多大な貢献をいただいたテキサス大学タイラー校のジョージ・F・ハム学長へ感謝状を贈りました。平成16年11月には、タイラー姉妹都市委員会の日本担当理事であったカズエ・ジョンソン氏を、篤行者として表彰しました。カズエ氏は交流時の通訳のほか、ALTの選考や派遣についてなど、両市の友好親善の架け橋として長年にわたりご尽力されました。

また、タイラー市名誉市民としては、元八千代市長の豊田俊郎氏、八千代市国際交

流協会名誉会長の周郷紀男氏、平成8年3月と平成18年3月のタイラー市での公演で親善大使として大きな役割を果たした、八千代少年少女合唱団指導者の長岡利香子氏が挙げられます。これまでの友好関係は、八千代市国際交流協会を中心とするタイラー市親善訪問団受入実行委員会のご尽力と、多くの方々による国際友好親善への理解によって築くことができました。

友情と世界平和への貢献を 未来の子どもたちへ

姉妹都市提携30周年を迎える今年は、より多くの人に交流の歴史を知ってもらうために、記念写真展の開催や写真集の発刊を予定しています。

今後もこの姉妹都市交流が次の世代に引き継がれ、この先40年、50年と永く続くように交流の輪を広げ、お互いのシンボルであるバラのような美しい絆を築いていきます。

調印式当時のスミス・P・レイノルズ市長のあいさつの中に、姉妹都市のメッセージは「人々を通しての平和」であり、姉妹都市関係は、両市民と世界と次世代のための平和を進めていくことになるでしょう、との言葉がありました。

八千代市とタイラー市を結ぶ友好の架け橋が平和な未来へとつながっていくよう、次の世代の子どもたちへ「友情」と「世界平和への貢献」を引き継いでいきます。



広告